

令和8年度 五所川原市立東峰小学校グランドデザイン

〈経営の理念〉

本校では、近年、児童数の減少、熊出没による緊急の対応等、学校を取り巻く環境が多様化・複雑化している。

このような状況の中、これからの時代を主体的にたくましく生きていくために必要な資質・能力の育成を目指して、これまでの歴史と伝統の基盤に立ち、家庭や地域等との協働・連携をより深めながら、教職員一丸となって本校教育目標の達成のために尽力する。

1 教育目標

「よく考え進んで学ぶ子」 「励まし合い仲よくする子」 「体も心もたくましい子」

2 努力目標（目指す児童像）

- ・ねばり強く学習に取り組む子供を育てる
- ・自他を大切にし明るく生活する子供を育てる
- ・体や心をきたえ健康づくりにはげむ子供を育てる

3 めざす学校像

- ・児童が学ぶ楽しさや喜びを感じ、安心して過ごすことができる学校
- ・家庭や地域から信頼される学校
- ・職員にとって働きやすくやりがいを感じるができる学校

4 めざす職員像

- ・コンプライアンス意識が高く、家庭や地域から信頼される職員
- ・家庭や地域、同僚との連携・協働を大切にする職員

5 めざす教師像

- ・児童の心に寄り添い、一人一人のよさを認め、民主的な学級経営に努める教師
- ・常に学び、分かる授業・楽しい授業づくりに励む教師

6 経営の方針

「笑顔が輝き、安心と信頼のある学校づくり」

(1) 「笑顔が輝き」の実現を目指して

①分かる授業、楽しい授業の構築

- ・課題意識を高めるための導入の工夫や、学び合いを大切にした授業をつくる。
- ・地域素材を教材化した学習や体験的・探究的な学習を推進する。

②自己肯定感・自己有用感の向上

- ・小さな成長や頑張りを見付け、意図的に褒めたり、認めたりする。
- ・児童が協力し合ったり、認め合ったりできる場をできるだけ多く設定する。

③相手意識をもち、誰にでも明るい声であいさつをする習慣の定着

(2) 「安心」の実現を目指して

①安心・安全な学校づくり（いじめや不登校等の防止）

- ・相手のことを考えて行動する「やさしさ」の育成を図る。
- ・教育的な愛情をもち、児童の話に耳を傾け、丁寧な対応に心がける。

②職員にとって働きやすくやりがいのある職場づくり

- ・働き方改革を推進する。 ・気兼ねなく相談等ができる雰囲気醸成を図る。

(3) 「信頼」の実現をめざして～「信なくば立たず」～

①信頼関係の構築

- ・児童との良好な人間関係づくりに努める。
- ・家庭や地域との良好な関係を築き、連携・協働を進める。

②教職員の非違行為の防止 ・時間と心に余裕をもって行動する。

【 教育課題と経営の重点 】

家庭や地域（こども園や保育園、中学校、関係団体等）との連携・協働

1 相手意識と課題意識をもち主体的に学び合う子供の育成

- ◇相手意識をもって考えを共感的に伝え合う場の工夫
 - 確かな学力向上プランに基づく、知識・技能の習得と活用
 - 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
 - 地域学習の推進（地域素材の教材化、体験的・探究的な学習）
 - 授業のユニバーサルデザイン化
 - ICT機器を活用した授業実践
 - 図書館教育の充実

2 自他を尊重し前向きに学校生活を送る子供の育成

- ◇自己肯定感・自己有用感を高める工夫（前向きな言葉を伝え合う取組）
 - 考え議論する道徳の授業実践
 - 体験学習をもとにした実践
 - 特別活動・キャリア教育の充実（自主的・実践的に取り組める場の設定）
 - 協働指導体制の確立による生徒指導の充実
（いじめ・問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応等）

3 興味・関心をもって健康的な生活を実践する子供の育成

- ◇過度なメディア視聴による健康被害の防止
 - 健康的な生活習慣の確立
 - 望ましい食習慣の確立
 - 実態把握に基づく体力を高める運動の推進
 - 課題解決に向けた教科体育の授業改善
 - 危機管理マニュアルに基づく安全・防災・防犯等の安全教育の推進

4 特別支援教育の充実

- 要支援児童の実態把握と教育的ニーズに応じた適切な支援
- 校内支援体制の充実
- 家庭や関係機関と連携した支援体制の充実
- 特別支援学級同士の交流